

令和 7 年 7 月 25 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第 4 3 0 号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. 令和 7 年度「飼料用米多収日本一」コンテストに応募しませんか
2. 「令和 7 年度家畜衛生ポスターデザインコンテスト」大募集！
3. 「令和 7 年度 病害虫発生予報第 4 号」（令和 7 年 7 月 9 日（水）付け）を発表しました
4. 「農家の承継実践講座」受講者募集中！
5. 経営マスターコース「組織マネジメント」受講者募集中！
6. （募集開始！）食と農の連携・協働を促進する新アワードを創設
7. （募集開始！）持続的な食料システムの普及に貢献する製品の表彰
8. 地域農業の担い手の農業用機械・施設の導入等を支援します！
9. （みどり戦略技術紹介）イネウンカ A I 自動カウントシステム
10. 「令和 7 年度 病害虫発生予報第 5 号（水稻特集）」（令和 7 年 7 月 23 日（水）付け）を発表しました
11. 「水稻移植栽培における除草剤体系処理によるナガエツルノゲイトウ防除技術標準作業手順書」を公開
12. スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）にあなたのスマート農業関連イベントを掲載しませんか？

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. 令和 7 年度「飼料用米多収日本一」コンテストに応募しませんか】

農林水産省では、一般社団法人日本飼料用米振興協会との共催で「飼料用米多収日本一」コンテストを開催しています。飼料用米の生産に係る技術水準の向上を図るため、生産技術の面から先進的で他の模範となる経営体を表彰し、その成果を広く紹介するもので、最優秀者には農林水産大臣賞が授与されます。

令和 7 年度の募集は、7 月 1 日（火）から 8 月 29 日（金）までです。皆様のご応募をお待ちしております。

◇ 応募の詳細はこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/seisan/kokumotu/siryouqa.html>

◇ ご応募、お問合せは「飼料用米多収日本一ブロック事務局」（PDF:109KB）へ（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/kokumotu/attach/pdf/250701-1.pdf>

◇ オンライン申請はこちら（農林水産省 Web）

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/nousan/kokumotu/bosyu.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農産局穀物課（担当：企画班）

TEL：03-3502-5965（直通）

【2.「令和7年度家畜衛生ポスターデザインコンテスト」大募集！】

農林水産省では、家畜伝染病対策に対する関心・理解向上を目指し、「家畜衛生ポスターデザインコンテスト」を開催しています。

今年のテーマは「豚熱（ぶたねつ）をひろげないためにできること」です。
国内外からの観光客や一般市民に向けた、アフリカ豚熱感染防止への協力意識が高まるようなデザインのポスターを大募集中です！

優秀な作品へは、賞を授与し、農林水産省が作成するポスターデザインとして採用する予定です。子どもから大人まで、家族・部活・職場などの団体も含め、たくさんのご応募をお待ちしております！

▼ 募集要項

- 募集期間：令和7年7月16日（水）～9月30日（火）
- 応募資格：なし（どなたでも応募可能）
- 賞：農林水産大臣賞、中央畜産会長賞、大日本猟友会長賞、日本獣医師会長賞、日本養豚協会长賞 他

◇ 家畜衛生ポスターデザインコンテストの詳細はこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/eisei_poster.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局動物衛生課（担当：野生動物対策班）

TEL：03-6744-2106（直通）

【3.「令和7年度 病虫害発生予報第4号」(令和7年7月9日(水)付け)を発表しました】

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「令和7年度病虫害発生予報第4号」を発表しました。

気象庁の向こう1か月の予報（7月3日付け）では、気温は全国で高いと予想されています。降水量は、東日本日本海側及び西日本日本海側で少ない、北日本、東日本太平洋側及び西日本太平洋側で平年並か少ない、沖縄・奄美で平年並か多いと予想されています。

水稻では、斑点米カメムシ類の発生が、北海道、南東北、南関東、北陸、東海及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。

野菜・花きでは、オオタバコガ、シロイチモジヨトウ及びコナガの発生が、複数の地域で多くなると予想されています。

果樹では、なしのシンクイムシ類の発生が、北関東及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、ねぎのアザミウマ類及び果樹カメムシ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があります。

また、今後も継続して気温が高くなる見込みであることから、害虫の発生量の増加や発生時期の長期化により、農作物への被害が増えるおそれがありますので、発生状況を注意し、適期の防除を実施してください。

◇ 「令和7年度 病虫害発生予報第4号」の発表について（令和7年7月9日付け農林水産省プレスリリース）（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250709.html>
（都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。）

◇ 都道府県の病虫害発生予察情報など（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局植物防疫課（担当：岡田、城野、古澤）

TEL：03-3502-3382（直通）

【4.「農家の承継実践講座」受講者募集中！】

一般社団法人アグリフューチャージャパンが運営する AFJ 日本農業経営大学校では、日本の農業の未来を担う経営者から若手農業者まで、すべての農業者のためのオンラインスクールを開設しています。

「経験者に学び、力に変える農家の承継実践講座」は、経営を受け継ぎたい、託したい農業者の方向けのオンライン講義です。

現場で承継を実践してきた3名の経営者との講義やクロストーク、質疑応答を通じて承継プロセスの“対話・行動”を掴み、円滑な承継に向けた「あなたの次の一手」を講師とともに描いていきます。

■事例を学ぶ 充実の講師陣

●ゲスト講師(1)：経営を託されるに至った信頼獲得のプロセス

嶋崎 隼人 氏 （有）トップリバー 代表取締役

●ゲスト講師(2)：予期せぬタイミングでの事業承継に備える

長澤 大輔 氏 （有）舟形マッシュルーム 代表取締役

●ゲスト講師(3)：経営を次世代へ託す覚悟と準備

鈴木 貴博 氏 （株）鈴生 代表取締役

○講師・ファシリテーター

折笠 俊輔 氏 （公財）流通経済研究所 主席研究員

■ 農家の承継実践講座（オンライン講義）

2025年9月11日（木）～10月16日（木）（全5回）

○ 受講料：22,000円（税込）

○ 定員：20名（先着順）

○ 申込方法：2025年8月21日（木）17:00までに下記よりお申し込みください。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら（（一社）アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP）

→ <https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/succession/>

◇ お問い合わせ先

AFJ 日本農業経営大学校 オンラインスクール事務局

MAIL：application-online@afj.or.jp

TEL：03-5781-3750

【５．経営マスターコース「組織マネジメント」受講者募集中！】

一般社団法人アグリフューチャージャパンが運営する AFJ 日本農業経営大学校では、日本の農業の未来を担う経営者から若手農業者まで、すべての農業者のためのオンラインスクールを開設しています。

今回ご紹介する講座「組織マネジメント」は、雇用拡大や体制づくりに取り組む農業者向けのオンライン講座です。

先進的な経営を実践する３名の経営者による講義と、講師の伴走支援を通じて、理想の組織づくりを実現するマネジメントプランを磨き上げます。

■ 充実の講師陣

○主任講師：仲野 真人氏（(株)食農夢創 代表取締役）

●ゲスト講師(1)：多様な人材の雇用と高い生産性を実現

澤浦 彰治氏（グリーンリーフ(株) 代表取締役）

●ゲスト講師(2)：個人の強みを活かすボトムアップ型組織

秋竹 俊伸氏（(株)早和果樹園 代表取締役社長）

●ゲスト講師(3)：ユニバーサル農業を軸とする活躍しやすい仕組みと環境づくり

鈴木 緑氏（京丸園(株) 総務取締役）

■ 組織マネジメント（オンライン講義）

2025 年 10 月 9 日（木）～2026 年 12 月 7 日（水）（全 7 回）

○ 受講料：55,000 円（税込）

○ 定員：20 名（先着順）

○ 申込方法：2025 年 9 月 25 日（木）17:00 までに下記よりお申し込みください。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら（(一社)アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP）

→ <https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/management/>

◇ お問い合わせ先

AFJ 日本農業経営大学校 オンラインスクール事務局

MAIL：application-online@afj.or.jp

TEL：03-5781-3750

【６．（募集開始！）食と農の連携・協働を促進する新アワードを創設】

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一環として、食料システムの関係者・関係団体間の相互理解と連携・協働を促すため、優良な取組を行う企業・団体等を表彰します。

■ 募集内容

(1) 食料の安定供給部門

(2) 食品アクセスの確保部門

(3) 持続的食料システムの確立部門

(4) スマート農業技術等の開発・普及部門

■ 募集期間

7 月 1 日（火）～ 8 月 12 日（火）

◇ 詳細はこちら(ニッポンフードシフト事務局「食と農をつなぐアワード 2025」特設 Web)
→ https://nippon-food-shift.maff.go.jp/2025/aw_connect.html

◇ プレスリリースはこちら (農林水産省 Web)
→ <https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/250701.html>

◇ お問い合わせ先
ニッポンフードシフト事務局 (JTB 霞が関事業部内)
TEL : 03-6737-9261
MAIL : nippon-food-shift01@bsec.jp

※ 受付時間は、土日祝を除く平日 10 時 00 分から 16 時 00 分まで。

【 7. (募集開始！) 持続的な食料システムの普及に貢献する製品の表彰】

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一環として、持続的な食料システムの普及に貢献する優良な製品を表彰する「FOOD SHIFT セレクション」を創設しました。2025 年 7 月 15 日 (火) から募集を開始します。

■ 募集内容

- (1) 地産地消または国産農林水産物の消費拡大に寄与する農林水産物・加工食品等の製品
- (2) みどりの食料システム戦略の推進に寄与する国産農林水産物・加工食品等の製品
- (3) 家庭備蓄の市場拡大に寄与する農林水産物・加工食品等の製品
- (4) インバウンド消費拡大に寄与する国産農林水産物・加工食品等の製品

■ 募集期間

7 月 15 日 (火) ～ 9 月 5 日 (金)

◇ 詳細はこちら (ニッポンフードシフト事務局「FOOD SHIFT セレクション」特設 Web)
→ http://nfs.ropolotest.com/2025/aw_selection.html

◇ プレスリリースはこちら (農林水産省 Web)
→ <https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/250715.html>

◇ お問い合わせ先
FOOD SHIFT セレクション事務局 (株式会社 NKB 内)
TEL : 050-3822-2930
MAIL : fss-office@nkb.co.jp

※ 電話による受付時間は、平日 10 時 00 分から 17 時 00 分まで。

【 8. 地域農業の担い手の農業用機械・施設の導入等を支援します！】

「農地利用効率化等支援交付金」(令和 7 年度当初予算) 及び「担い手確保・経営強化支援事業」(令和 6 年度補正予算) のうち、地域農業構造転換支援タイプ (対策) に係る追加要望調査を実施します。

両事業とも、一部要件を変更しておりますが、昨年度に実施した事業内容に変更はありません。

これらの事業の活用をお考えの方は、市町村にご相談ください。

※ 農業者から市町村への申請期限は、市町村により異なります。

○ 地域農業構造転換支援タイプ（対策）

将来像が明確化された地域計画の早期実現を後押しするため、地域の中核となる担い手の農地引受力の向上等に必要な農業用機械・施設の導入及び農業用機械のリース導入を支援します。

<補助率>

購入 10 分の 3 以内、リース 定額（リースは導入する農業用機械の取得額相当 7 分の 3 以内）

◇ 追加要望調査についてはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/R7_nouchiriyou-R6ni_shien/index.html

◇ 農地利用効率化等支援交付金（令和 7 年度）はこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/R7_nouchiriyou/index.html

◇ 担い手確保・経営強化支援事業（令和 6 年度補正予算）はこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/sien/R6ni_shien/index.html

◇ 経営体育成支援はこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/keiei/keikou/kouzou_taisaku/index.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省経営局経営政策課担い手総合対策室（担当：「農地利用効率化等支援交付金」は担い手支援第 1 班、「担い手確保・経営強化支援事業」は担い手育成班）

TEL：03-6744-2148（担い手支援第 1 班直通）、03-3502-6444（担い手育成班直通）

【 9.（みどり戦略技術紹介）イネウンカ A I 自動カウントシステム】

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に役立つ技術をご紹介します。

今回は、イネウンカ A I 自動カウントシステムについてです。現場での効果的で効率的な防除に繋がる技術です。

イネ害虫の発生調査において、調査用粘着板の画像からイネウンカ類を自動認識する A I が開発されました。ウンカ類を 90%以上の精度で認識・自動カウントすることで、目視では粘着板 1 枚当たり 1 時間以上かかることもある調査時間を、5 分程度に短縮できます。これによって均一な精度で、迅速かつ省力的に調査を実施でき、イネウンカの的確な防除や被害発生の予測に役立ちます。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：水稻)（PDF：8,034KB）p. 4
イネウンカ A I 自動カウントシステム（農林水産省 Web）

→

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/01_midori_catalog5_rice.pdf#page=4

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課技術政策室（担当：中野、小松崎）

TEL：03-3502-3162（直通）

【10.「令和7年度 病虫害発生予報第5号(水稲特集)」(令和7年7月23日(水)付け)を
発表しました】

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「令和7年度病虫害発生予報第5号(水稲特集)」を発表しました。

気象庁の向こう1か月の予報（7月17日付け）では、気温は、北日本、東日本、西日本では高く、沖縄・奄美で平年並か低いと予想されています。降水量は、北日本、西日本太平洋側でほぼ平年並、東日本、西日本日本海側で平年並か少ない、沖縄・奄美で、多いと予想されています。

斑点米カメムシ類（イネカメムシを含む）の発生が、北海道、東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国及び九州の一部の地域で多くなると予想されています。

縞葉枯病の発生が、南関東及び中国の一部の地域で多くなると予想されています。

いもち病の発生が、甲信、中国及び四国の一部の地域で多くなると予想されています。

紋枯病の発生が、四国の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。また、今後も継続して気温が高くなる見込みであることから、病虫害の発生量の増加や発生時期の長期化により、水稲への被害が増えるおそれがあります。特に、斑点米カメムシ類の発生が全国的に多くなるおそれがあることから、発生状況を注視し、適期の防除を徹底してください。

都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

◇ 「令和7年度 病虫害発生予報第5号(水稲特集)」の発表について（令和7年7月23日付け農林水産省プレスリリース）（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250723.html>

◇ 都道府県の病虫害発生予察情報など（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局植物防疫課（担当：岡田、城野、古澤）

TEL：03-3502-3382（直通）

【11.「水稲移植栽培における除草剤体系処理によるナガエツルノゲイトウ防除技術標準作業手順書」を公開】

農研機構は水稲移植栽培における除草剤体系処理によるナガエツルノゲイトウ防除技術標

準作業手順書を6月24日ウェブサイトで公開しました。

本手順書は、難防除外来雑草のナガエツルノゲイトウを対象として、水稻移植栽培を行う水田における防除技術の作業手順をわかりやすく解説しています。

本手順書の内容の一部は農林水産省委託プロジェクト研究「農業被害をもたらす侵略的外来種の管理技術の開発」によって実施した研究成果をとりまとめたものです。

◇ プレスリリースはこちら（(国研) 農研機構 Web）

→ https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nipp/169462.html

◇ 農研機構へのお問い合わせはこちら（(国研) 農研機構 Web）

→ <https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課（担当：戦略的実装班）

TEL：03-3502-7407（直通）

【12. スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）にあなたのスマート農業関連イベントを掲載しませんか？】

農林水産省・農研機構が共同事務局を務めるスマート農業イノベーション推進会議（IPCSA・イプサ）が令和7年6月27日に設立しました。

Web サイトにて最新のスマート農業関連情報を発信しています。是非会員登録をお願いいたします。

◆ IPCSA とは

農業者を中心に、JA、関係団体、民間企業（メーカー、スタートアップ、農業支援サービス事業者、食品事業者等）、高専・大学・研究機関、地方公共団体、農業高校・大学校等の多様なプレーヤーが参画する協議会です。

スマート農業技術の開発と普及を推進するため、関係者間のマッチングや人材育成等の様々な活動を行っていきます。

現在、IPCSA の会員数は1,000 を超えております。

また、IPCSA では、全国のスマート農業関連イベントを発信・知っていただき、業界全体を盛り上げたいと考えております。農業者の皆様におかれましては、ご登壇等の形で関与されているスマート農業関連イベントなど、是非ご登録ください！

◇ IPCSA 会員登録フォームはこちら（Microsoft Forms）

→ <https://forms.office.com/r/hRKQy76eks>

◇ イベント掲載依頼フォームはこちら（Microsoft Forms）

→

https://forms.office.com/pages/responsepage.aspx?id=6SnawNfS7k0Xfn50Nx_ojs58sd5obolCowC1SuELrD9UN1lCOVdHTEhRQ1hTVTYzUTFWQ1o3M1VSVi4u&route=shorturl

◇ IPCSA 設立総会の様子ははこちら（IPCSA Web）

→ <https://ipcsa.naro.go.jp/event/meeting/2025/06/2221.html>

◇ スマート農業関連のイベント情報掲載ページはこちら（IPCSA Web）

